



青い空を眺める

山東省・済南外国語学校 高1（男）

邱 抱朴

皆さんは感じているでしょう。消え失せた鳥の鳴き声とか、汚くなった川とか、灰色になった青い空とか。そう、今人間は地球の環境が悪くなっていることにだんだん目を向けるようになってきました。

この問題をどうするかということについては、いろいろな意見が生まれました。例えば、車を買うことに対して、制限する必要があるかどうか、論争しています。でも、言い合いばかりしているより、自分で実際に体験したり、調査したりするのがいいです。そして、問題を解決するためには一人一人の努力を必要とするでしょう。

だから、私は1週間ほどの調査をしました。その結果、環境問題には「汚染」「資源不足」「生物の絶滅」の三つの課題があることがわかりました。

まず、1番深刻なのは汚染のことです。よく新聞では「××川の隣に化学工場ができて、川の水が汚くなってしまった」のようなニュースが見られます。これは主に政府の責任でしょう。もしもっと厳しい処罰の手段や法律があったら、こんな問題は解決できるかもしれません。

そして、人がごみを捨てるのも問題です。私がよくジョギングしている公園では、ときどき瓶や缶がポイ捨てされているのを見かけます。このようなことに対しては、個人の努力が必要だと思ったので、私は学校の「緑風社団」という部活に入りました。部活で何度も公園でごみを拾ったり、いすをふいたりしました。自然保護に自分の力をささげて、楽しかったです。でも、それではまだ足りません。掃除だけに限らず、また教育や宣伝することも大切です。化学工場の経営者にも汚染の問題を知らせて、あらゆる人の努力が集まったら、この問題はきっと解決できるでしょう。

次は資源がなくなることです。調査で「地球の石油は40年後になくなる」ということを知って、びっくりしました。それに、人口が増え続けているので、将来食

べ物の不足も重要な問題になると思います。それを解決するためには、新しいエネルギーを開発することが必要です。その中で太陽のエネルギーが一番いいと言われていますが、それを集めるのは難しく、新しい技術が要ります。でも、個人にとって、努力しなければならないこともいろいろあります。その一つはむだをやめることです。皆さんはご飯をむだにしたことがありませんか。「わずかな量だから、かまいませんよ」と思う人もいますが、中国人が1年間でむだにしたごはんは1億人の食事をまかなえる量になると知ったら、驚くでしょう。だから、自分の生活からむだをやめましょう。全国の人が節約したら、貧乏で飢えている人が減っていきます。

それからごみを再利用するのも一つの方法です。以前、私は友達とこんな話をしました。

「皆さん、知ってる？ 日本ではペットボトルを捨てる時、いくつかの部分に分けて、違うごみ箱に入れるんだよ。」

「へえ？ びっくり！」

「そうすれば、ごみがほとんど再利用できますね。」

「中国では再利用できるごみとできないごみの二つの箱があるよね。でも、たった二つなのに、人々は注意してないよね。」と李さんは仕方がないというような顔をして言いました。

「じゃ、私たちはごみを分類して捨てようという宣伝をしたらどう？」と私が提案しました。

「いいアイデアですね。」

皆さんは賛成し、それから学校の掲示板にごみの分類についてのポスターを貼りました。数週間後、回収すると、要らないかみやかんがたくさん集まりました。私たちはそれらを売って得たお金を宣伝に使おうと思いました。将来日本のように細かく分けて出すつもりです。

最後は生物の絶滅です。この間テレビで「食べ物を探すために300キロも歩いた北極熊が疲れすぎて、死んでしまった」というニュースを見て、とても悲しくなりました。それに、私が大好きな北極熊は将来北極のこおりが溶けて消えてしまう可能性もあります。

動物は人間の友達で、人間にさまざまなことを教えました。例えば、飛行機は鳥から、ソナーはこうもりから学んだものです。もし動物がいなくなったら、人間は寂しくて、地球で生きていけないでしょう。

そういうわけで、いろいろな人が頑張っています。今年の夏休みに四川省へ行ったときパンダの保護区を見ました。これはパンダを守るために政府が建てたものです。保護区では生き生きと遊び、走り回っているパンダをたくさん見ました。そして、「両親を亡くした子供が子パンダを飼って、一緒に成長しました」という映画をみました。動物も人間と同じ感情があり、人間の友達だと改めて思って感動しました。もしもっと多くの人に動物の生活を知らせれば、人間は動物殺しを止めて、一緒に動物が生活しているところを守ると思います。

地球の環境を守るにはあくまでも個人の努力が必要です。汚染を止めて、むだをやめにして、動物を保護して、地球に暮らすすべての人が自分の生活から環境保護のことを考えなければなりません。

私は環境保護に力を尽くしたいです。だから、今は緑風部の仲間と協力して、環境問題を宣伝し、リサイクルの活動を推し進めるつもりです。自分の家から町へ、町から国へ、国から世界へリサイクルを広げたいです。世界中の人の努力を集結して、私たちの後世にきれいな地球を残しましょう。